

## ドイツの文学

2 units 2nd-year(1st semester)

Eisaku Ishikawa · PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES, keiji Ido · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

**Target)** ドイツ文学を専門とする二人の教員が、それぞれ下記のテーマで作者の生涯や作品などを論じていく。いろいろな作品に出会い、それらを実際に読むことで、教養を高め、豊かな人間性を培うことを目的とする。

**Outline)** ドイツ文学入門

**Keyword)** ニーベルンゲンの歌、ワーグナー、啓蒙主義、シュトゥルム・ウント・ドラング、ロマン主義

**Relational Lecture)** “ドイツ言語文化研究 I (その 1)”(0.5), “ドイツ言語文化研究 I (その 2)”(0.5), “ドイツ言語文化研究 I(その 3)”(0.5), “ドイツ言語文化研究 I(その 4)”(0.5)

**Notice)** 共通教育のドイツ語入門を履修していることが望ましいが、作品紹介などには主に翻訳を使うので、未履修者も受講不可能ではない。

**Goal)** ドイツ文学の傾向を知るとともに、少なくとも一つの作品を実際に読み、それについて考えたことを文章化する。

**Schedule)**

1. 石川ーニーベルンゲン文学の系譜 1) ドイツ文学史概観
2. 2) 中世英雄叙事詩『ニーベルンゲンの歌』前編
3. 3) 中世英雄叙事詩『ニーベルンゲンの歌』後編
4. 4) ワーグナーの楽劇『指環』 — 『ラインの黄金』
5. 5) ワーグナーの楽劇『指環』 — 『ワルキューレ』
6. 6) ワーグナーの楽劇『指環』 — 『ジークフリート』
7. 7) ワーグナーの楽劇『指環』 — 『神々の黄昏』
8. 井戸 18 世紀後半以降の作家たちとその作品 1) レッシング
9. 2) ゲーテ
10. 3) シラー
11. 4) ヴァッケンローダーとティーク
12. 5) フリードリヒ・シュレーゲルとノヴァーリス
13. 6) E.T.A. ホフマン
14. 7) グリム兄弟
15. 予備
16. 総括授業

**Evaluation Criteria)** 授業への取り組みと二人の教員のレポートによる。

**Re-evaluation)** 行わない。

**Textbook)**

- ◇ テキストとしては適宜プリントを配付する。
- ◇ 参考文献 石川栄作著『ジークフリート伝説—ワーグナー「指環」の源流』(講談社学術文庫)

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219070>

**Contact)**

⇒ Ishikawa (+81-88-656-7142, [ishikawa@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:ishikawa@ias.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (Office Hour: 金曜日 15時-16時)

⇒ Ido ([ido@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:ido@ias.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (Office Hour: 火曜日16-17時 3号館1階学習支援室)

**Note)** この授業は今年度で終了します。来年度以降になると、「ヨーロッパ文学研究」の授業で読み替えることになります。